

## 第 626 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議題 —

テレビ番組  
「土曜ランチTV なじラテ。」(4月8日放送分)



平成 29 年 4 月 26 日

**BSN新潟放送**

## 第626回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成29年4月26日（水）午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員	相羽利子	委員	古賀豊
委員	正道かほる	委員	高木言芳
委員	服部誠司	委員	小島良子
委員	細田康	委員	池田幸博
委員	佐藤元		

○委員側欠席者

委員 小原清文

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	営業本部長	斎藤和利
放送本部長	島田好久	編成局長	増山由美子
情報センター長	大竹正敏		

<説明員> 放送本部情報センター テレビ制作部 ディレクター 山口牧恵

事務局出席者

事務局員 和田司(広報部長)

4. 議題

1 報告事項

番組種別公表制度に基づく「放送番組の種別と種別毎の放送時間」について

2 報告事項 5月の新番組、単発番組について(各局長)

3 審議番組 テレビ番組「土曜ランチTV なじラテ。」

(2017年4月8日(土) 12時00分～13時55分放送分)

## 5. 議事の概要

はじめに、編成局長より「放送番組の種別と種別毎の放送時間」、「青少年にみてもらいたい番組」について報告。次に各局長からの2017年5月度番組報告等に続いて、テレビ番組「土曜ランチTV なじラテ。」について審議が行われた。

### ～番組審議委員の主な意見・質問～

- BSNが全社一丸となって土曜2時間の生放送をやることでかなり期待して視聴した。こういう情報番組は「やりたいと思ったイメージ通りに番組を作ることができるのか否か」ということが成否を分けると思うが、見た感想としては「見る側も見せる側も忍耐力が必要」というか、時間をかける必要があると思った。土曜の昼に県内各市町村の生映像を見られるのは新鮮だ。ライブ感を大切にしていってほしい。
- 楽しく見させてもらった。とにかく始まったばかりで、試行錯誤しながら番組作りをしているのがわかる。ラジオ的なテイストを感じた。今後を期待して温かい目で育っていくところを見たい。
- 面白かったのはテレビとラジオのコラボコーナーがあること。ラテ兼営局のBSNならではのことだが、せっかくのラジオをどう生かすのか、斬新なアイデアがでてくることに期待したい。MCの菊田さんは賑やかでいいが、中年男性の私の感覚では賑やかすぎるという印象。同じくMCを務めている黒崎ANとの掛け合いに期待したい。なじラテ選手権については、もうちょっとスマートに進行できないか？土曜昼の放送らしく、肩の凝らない名物番組にしてほしい。
- ふるさと新潟の温かさを感じさせる作りになっていたと思う。近藤ANの中継コーナーは、行き当たりばったり感が良かった。不安も覚えるが、そうしたテイストを狙っての面白さは感じた。ハプニング的な演出は生放送では効果があると思う。新人AN2人についてはハラハラドキドキしながら成長を見守っていきたい。
- これからを期待したい。作る側も考えてやられていると思うが、正直、2時間付き合うのはしんどいと思った。内容がぎゅっと詰まったコーナーもあったが、疑問に思うコーナーもあった。伝え手側が面白がると、見る側が面白いと感じるのは違う場合もある。
- 色々なものが詰まっていて、順番もくるくる変わって、見ていて正直、疲れも感じた。各コーナーとも頑張ってる感は出していたが、説明不足で「？」の部分もあった。面白さ半分、なぞ半分ということで今後に期待したい。

～新潟放送 放送本部情報センターテレビ制作部 山口牧恵ディレクターから～

○ 貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。各委員におかれでは広い心で見ていただき感謝いたします。番組を始めるに当たり、テーマを考えた時、「新潟のイイね！」にテレビカメラが入っていくというコンセプトになった。ライブ感も大切にしたいということで、生中継のコーナーも2つ作った。県外出身の新人AN2名を思い切ってリポーターに登用したが、新潟のイイところを新鮮な驚きとともに紹介したいとの意図がある。テレビとラジオのコラボについては、ラジオの担当ディレクターと考えていきたい。番組が始まったばかりで、バタつくところや説明が足りない部分もあろうかと思うが、全力で頑張りますので応援をよろしくお願ひします。

---

【文責・番組審議会事務局】